

教科・科目		単位数	対象学科・学年・クラス		備考
商業	総合実践	2 単位	流通経済科	3 年 2 クラス	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	① 一連の商品売買の業務を実践的に行い、ビジネス活動に必要な基礎的、基本的な知識と技術を総合的に身につける。 ② 「自ら考え、実行し、自らの力で解決する」という自主的な学習活動をおこない、商業経営に必要な業務を合理的、能率的に処理する能力と態度を養う。 ② 応対の心得や学習上の心得を守り、正しい言葉遣いやビジネスマナーを身につける。
使用教科書	総合実践要項（自主教材）
副教材等	

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	オリエンテーション 学習上の一般規定 1. 実践取引日 2. 取扱商品 3. 商品(電器商品)の流れ 4. 商品(家具)の流れ 5. 商品売買手順と作成文書 6. 諸経費の支払い 7. 決算 書類の書き方 1. 仕訳伝票 2. 見積依頼者・見積書 3. 注文書・注文請書 4. 納品書・請求書・物品受領書 5. 振込依頼書・領収書 【補助簿】商品有高帳 6. 【補助簿】当座預金出納帳・仕入帳 7. 各帳簿の締め切り 8. 小切手・約束手形・領収書作成	2名でペアを組み、実際の会社業務を行うという授業内容を理解する。 総合実践室でのマナーを理解する。 取引開始前の準備として、繰越伝票による前期繰越高、商品有高帳における開始記入などを正確に記帳させる。 取引の流れを実践要項を使いながら、理解する。 1回目の取引は指定取引として、取引相手は実践要項に書いてあるとおりに行う。 月末において、借入金の返済や諸経費の支払い等の事務処理を行う。
2 学期	商事会社業務規定 自由取引 掛代金の支払い 決算 ①合計残高試算表を作成する。 (月末事務と兼ねる) ②決算整理仕訳をする。 ③ 益計算書を作成する。 ④ 借対照表を作成する。	各商事会社の代金決済等の規定を理解する。 大阪市場と東京市場で自由に取引を行う。 代金決済の方法は商事間においては、小切手で行う。 仕入計画・販売計画を立案し、取引規定に従い自由にビジネス活動を展開する。 仕事の内容や手順を十分に理解した上で、個々の仕事が全体の企業経営にどのように結びついているのかを考えながら、執務する
3 学期	決算書の作成・まとめ・提出 決算概況発表	1年間行った取引の帳簿をまとめ、決算書類を作成し、提出する。 パソコンによる決算も行い、照合する。 利益等の事実、経営分析、1年間のお礼に分けて、きちんと発表する。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	商業科目の学習に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組んでいるか。	学習活動への参加の仕方や態度 学習進度表の達成状況
思考・判断・表現	売買に関する基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。	学習活動への参加の仕方や態度 期末考査・提出決算書類 学習進度表の達成状況
技能	経済社会の一員としての接遇マナーや仕入・販売に関する諸活動を適切に実践することができるか。	学習活動への参加の仕方や態度 学習進度表の達成状況
知識・理解	帳簿に基づき、財務諸表の作成ができるか。 財務諸表を資料として、経営分析を行い、報告書が作成できるか	学習活動への参加の仕方や態度 期末考査・提出決算書類 学習進度表の達成状況